

# 令和4年度(令和3年度実施事業分) 主要事業評価各課総括表・2次評価表

2次評価者

企画部秘書課

企画部長 山田 宰

整理No	主要事業名	3か 年実 施計 画	事業の評価・課題		今後の事業の方向性	
			自己 評価	評価内容	方向性	内容
1-1	ミッドランド市姉妹都市提携40周年事業	あり	C	<p>新型コロナウイルスの影響により相互訪問は中止となったが、市内中学生とミッドランド市民でオンライン交流会を実施した。交流会の様子が新聞社等に報道され、市民へ交流活動の様子を周知することができた。</p> <p>また、両市で姉妹都市提携40周年記念品を作成・交換し、友好の絆を確認できた。</p> <p>長期化するコロナ禍において、今後の相互訪問の在り方や、定期的な交流方法及び市民への周知方法などを検討していく必要がある。</p>	改善 推進	<p>国際交流は対面による交流が主流だったが、このコロナ禍においてその様子は大きく形を変えようとしている。今後も定期的かつ持続的な交流をするともに、対面による交流ではない別の交流方法（オンライン交流等）を主流に実施していく必要がある。</p>
1-2	ふるさと納税事務	なし	A	<p>令和3年10月より受付サイト（楽天ふるさと納税）を増やしたことにより、寄附額の増加に繋がった。また、PRとしてふるさと納税登録店に掲示するステッカーを作成し返礼品事業者からもPRしてもらえよう新たな取り組みを導入した。</p> <p>返礼品の申込件数は増えてきているものの、売れ筋商品に偏りがあることや平均寄附単価が高くないことが課題となる。</p>	改善 推進	<p>令和4年度より新たに受付サイト（ふるなび・さとふる）を増やし、寄附の増加を図る。また商品の魅力がより伝わるよう、返礼品写真・商品説明内容を返礼品事業者と連携しながら改善を行うほか、返礼品数を増やしていく必要がある。一度半田市にふるさと納税をしてくれた方が、もう一度したいと思えるように返礼品を通じた半田市の魅力を発信できる取り組みを検討する。</p>
課等長	1次評価（令和3年度の総括評価）					
B	<p>ミッドランド市姉妹都市提携40周年事業では、相互訪問が中止となるなか、初めて海外とのオンライン交流会を実施することができた。さらに多くの市民が交流に参加できる体制を整えたり、市民へ姉妹都市との交流をアピールする機会が作れるよう、交流方法等を検討する。</p> <p>ふるさと納税事務は、寄附件数及び寄附金額について昨年度より大きく上回る実績を残すことが出来た。今後も寄附を増やすためには、寄附申込が多い返礼品（主要となる返礼品）を引き続きPRするほか、主要となる返礼品を増やしていく工夫が必要となる。</p>					
部等長	2次評価（令和3年度の総括評価並びに今後の方針及び指示事項）					
B	<p>初の試みであったオンライン交流会は、参加者からは好評で、今後の新たな交流方法の第一歩となった。初の試みでもあったため、参加者は限定的であったが、今後は徐々に参加者を増やし、多くの市民に国際感覚が醸成されるよう、工夫する必要がある。</p> <p>ふるさと納税事務は他市町村に比べると寄附額は少ないものの、順調に寄附額を伸ばすことが出来ている。地域振興を図ることが出来るふるさと納税の特徴を活かし、返礼品事業者との連携を密に行い、魅力的な返礼品の登録を行うことで半田市のPR推進と寄附の増加に繋がると考えられる。</p>					